

# 燃えるごみの分け方・出し方 (毎週2回収集)

一部地域を除く

燃えるごみを減らしてできるだけリサイクルに回しましょう。

## 収集当日の朝8時まで指定場所に出してください。

だせるもの

生ごみの約50%が水分です十分に水切りを!

※水分が多いと焼却時にムダな燃料が必要になります

汚れていない紙くすやシュレッダー紙は、紙類へ(9頁参照)

汚れた紙くす 感熱紙 ビニールコート紙

ぬいぐるみ

紙オムツ

汚物は取り除く

凝固剤で固めるか紙パックに新聞紙を入れて吸わせるなど

食用油

革製品

金具は取り除く 分別ができない物は粗大ごみへ

木の枝は太さ3cmまで

クリーニング袋

クリーニング袋など

●指定袋の中に小袋を入れて出す場合は、燃えにくくなりますので、小袋の口を結ばないでください。  
●燃えない物は入れないでください。

## 水切り用具の活用!

ぜひ、皆さんのご家庭で生ごみの水切りに取り組んでください。

1. 流し台備え付けのごみ入れ(水切り用具規格範囲)を使用している場合  
ごみ籠を取り出し、水切り用具で押して水切りをする。
2. 三角コーナー使用及びその他(上記1以外の規格)を使用している場合  
それぞれのごみ入れで別途専用の網袋を使用しているときは、その網ごと取り出し、水切り用具で押して水切りをする。

## 生ごみの減量化を応援します!

### 生ごみ処理機補助制度

補助金 購入金額の二分の一以内  
上限 **30,000円**  
※補助金に限りがありますので購入前にご確認ください。  
注) 市内の販売店で購入すること

### 生ごみバケツのあっせん

販売 環境対策課及び支所で販売しています。  
一世帯につき2個セット **2,310円**  
※別途に、市販のEM菌などボカシあえが必要。



# 資源ごみ 金属類の分け方・出し方 (毎月1回収集)

一部地域を除く

だせるもの

資源ごみ指定袋

カン類

アルミ缶 飲料用、酒類、特定調味料

スチール缶

オーブントースター

スプレー缶など 中身を使い切る

その他金属

紙箱は紙類へ(9頁参照)

ドライバー

鉄くす・ホーロー鍋など

包丁、ナイフ

※材質表示マーク

※材質表示マーク

※アルミとスチールを分けて出す必要はありません。  
※アルミとスチール以外は混ぜて入れないでください。  
※タバコの吸い殻は絶対に入れないでください。  
※空きカンは中身を出して、中を軽く水洗いしてください。

### ご注意

厚紙で包むなど切れないようにして、刃物と表示してから透明袋へ。

画鋲や針は危険なので、缶に入れてから袋へ。

スプレー缶は中身を使い切ってください。

外したキャップやノズルはプラスチック製容器包装へ

袋に入らない大きいごみは、粗大ごみに持ち込んでください。

刃物

燃料缶、塗料缶は市で収集できませんので、販売店に引き取ってもらってください。できない場合は、廃棄物処理業者(有料)に依頼してください。(12頁参照)

### 空きカンをリサイクルすれば…?

エネルギーが節約できます

★アルミ缶…97%削減

回収されたアルミ缶から再生地金を作るエネルギーは、ボーキサイトからまったく新しい地金を作る時のエネルギーのたった3%でOKです。なんと97%ものエネルギーが節約できます。

エネルギーが節約できます

★スチール缶…75%削減

回収されたスチール缶のスクラップを使うことで、鉄鉱石から鋼材を製造する場合よりも、エネルギー消費量は75%も削減できます。

エネルギーが節約できます

100% 新しいアルミ缶

たった3%

100% 新しいスチール缶

25%

限られた資源を大切にしましょう